

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 筑後広域公園芸術文化交流施設
- 2 指定管理者 : ちくごJR芸術の郷事業団
- 3 指定期間 : 平成30年4月1日～令和5年3月31日
- 4 施設設置目的 : 筑後地域の芸術文化団体やまちづくり団体等との連携を図りながら、地域の情報発信や発展に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
  - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - (2) 点検結果 : 別添のとおり

## 1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的を踏まえ、地域との連携・協同を図りながら、地域の文化振興に寄与する。</li> <li>全ての人が快適に施設を利用できる運営を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元自治体やNPO法人等と連携を図りながら、「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を3本の柱とする事業を実施している。</li> <li>筑後地域出身の芸術家やゆかりの作家の展覧会、住民参加型のイベントや体験事業を実施し、公園内だけではなく筑後船小屋駅周辺を巻き込んだ事業を展開している。</li> <li>公の文化施設として、利便性と安全性に配慮するとともに、ホームページ予約システムの運用等により、全ての人が利用しやすい環境を整えている。また、HAWKS ベースボールパーク筑後での試合開催日等、混雑時の駐車場の職員配置を工夫し、快適に施設を利用できるよう徹底している。</li> </ul>
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>より広域的な集客を図るため、九州新幹線主要駅でのPRやSNSの活用等、効果的な広報に努める。</li> </ul> <p>（目標：利用者数 90,000 人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットを外国語表記にするなど、海外からの来館者にも配慮した広報を行う。</li> <li>JR九州の筑後船小屋駅周辺の各駅及び博多駅や小倉駅等の15駅にポスターやチラシ等を設置、九州一円に配付するパンフレットに広告を掲載した。</li> <li>旅行会社へのセールスにより、ツアーバスの受け入れによる団体客の集客に繋がった。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベントの中止により、利用者数及び施設稼働率が減少している。</li> </ul> <p>〔 利用者数：70,012 人（対前年度 △31.3%） 施設稼働率：48.8%（対前年度 △7.0%） 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的に沿って、施設の特性を活かした以下の事業を展開した。</li> </ul> <p>事業数：24 事業（対前年度 △2 事業） 参加者数：39,697 人（対前年度 △24.9%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 芸術文化事業 事業数：9 事業（対前年度 +1 事業） 参加者数：18,284 人（対前年度 △34.9%）</li> <li>② 体験事業 事業数：8 事業（対前年度 △3 事業） 参加者数：8,259 人（対前年度 △6.5%）</li> <li>③ 交流事業 事業数：7 事業（対前年度 ±0 事業） 参加者数：13,154 人（対前年度 △17.7%）</li> </ul> <p>&lt;主なもの&gt; 「九州クリエイターズマーケット Vol.13」、「九州芸文館トリエンナーレ2019」、「九州芸文館アカデミー講座」、「第5回筑後七国酒文化博」、「鉄道フェスタ2019」、「第11回筑後七国卑弥呼の火祭り」</p>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズ等を把握し、利便性の高い施設を目指す。</li> <li>・サービスマニュアルを作成、職員の役割を明確化。</li> <li>・高齢者や障がいのある方への配慮を徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート等により利用者の声を集約、職員間で問題の解決と情報共有を行う。</li> <li>・居心地の良い空間とするため、サービスマニュアルに沿った取り組みを徹底、他施設のサービス対応等の視察研修を実施している。</li> <li>・車椅子利用の高齢者や障がいのある方が来館した際、駐車場から近い管理事務室側からの入館を可能にした。</li> </ul>
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の促進と収入確保を目指し、経費の節減、経営の効率化に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR九州のネットワークを活用し、広報や定期的利用者へのアプローチを通じて、稼働率向上と収入確保に努めている。</li> <li>・新電力会社との契約により、コスト削減を図っている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数及び駐車場利用時間が減少し利用料金収入が減少した。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>利用料金収入実績： 3,619 千円（対前年度 Δ22.7%）</p> <p>県委託料（指定管理料）： 114,713 千円（対前年度 +1.9%）</p> </div>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文化の創出に情熱的に取り組む有能な人材を確保。</li> <li>・安定した経営と財政基盤を構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門知識・技術と現場経験を有する職員を配置している。</li> <li>・受付業務で利用者を待たせることがないよう、スタッフ全員が受付業務を実施できる体制をとっている。</li> <li>・借入金はなく、健全な財務体質を維持している。</li> </ul>
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護に努め、県の情報公開条例を遵守。</li> <li>・災害緊急時のマニュアルに即した対応、利用者の安全確保に努め、職員の危機管理教育を徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護マニュアルに基づき、職員全員に研修を実施し、適切な対応に努めている。</li> <li>・本館及びレストランスタッフ、警備員合同で防災訓練及び救急救命・AEDの講習を実施している。</li> <li>・危機管理マニュアルを作成し、スタッフ全員に配布の上、事務室及び受付に配置している。</li> </ul>

## 2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容のとおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の設置目的を踏まえ、地域と連携したイベントや体験講座の実施など、施設の特徴を活かした文化事業を実施している。</li> <li>・利用者のニーズを把握し、高齢者や障がいのある方に配慮した対応を行うなど、施設利用者へのサービス向上に努めている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設利用者数、施設稼働率等が減少したものの、「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を3本の柱とした事業は予定通り実施している。</li> </ul> <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p>
---	---